



竜宮小僧にふんした女性(左)の紙芝居に聞き入る園児ら  
 〓 浜松市中区の日本文教幼稚園

# 「困っている人助けて」

## 「竜宮小僧」紙芝居読み聞かせ

浜松市北区引佐町周辺に伝わる人助けの妖精「竜宮小僧」が24日、中区の日本文教幼稚園を訪れた。浜松商工会議所と静岡文化芸術大が市中心街で展開する「竜宮小僧プロジェクト」の一環。竜宮小僧の伝説を描いた紙芝居を園児28人に読み聞かせ、利他の精神の大切さを伝えた。

紙芝居を読んだ竜宮小僧役は、NPO法人出世の街浜松プロジェクトの女性職員が務めた。紙芝居は竜宮小僧が見返りを求めずに田植えなどを手伝い、死後も同町の「久留女木の柵田」の水源となつて人々に恩恵を与え続けているという内容。園児は同大卒業生のデザイナー・山下裕子さん(23)〓湖西市〓がイラストを手掛けた紙芝居に興味津々な様子

### 中区 園児に利他の精神伝える

で聞き入った。「竜宮小僧は「困っている人がいたら助けてあげて」と呼び掛けた。同プロジェクトは2017年度、竜宮小僧にあやかり「利他の街はままつ」を醸成しようとした。竜宮小僧にふんした人が中心街に出没し、市民に伝説を紹介している。今後、ほかの幼稚園でも紙芝居を上演していく予定。  
 (浜松総局・鈴木侑季)